

2022 年度
事業報告・会計報告



2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人 3keys

1 事業の成果

子どもたちへセーフティーネット等を提供する事業（通称：子ども事業① セーフティーネット作り）

1. 10代向け支援サービス検索・相談サイト Mex（ミークス）：オンラインでの取り組みである Mex では、2022年度は約186万人が利用し、引き続き頼れる大人が身近にいない子どもたちのニーズを分析しながら、ニーズに合ったよみもの、動画等のコンテンツ作成や発信を行いました。

2016年度にオープンしてからの子どもたちの利用状況を分析しながら、より多くの子どもたちが利用しやすいサイトを目指して2023年3月にサイトのリニューアルを行いました。あわせて、国内外の個人情報保護法の変化や、検索エンジンの検索アルゴリズムの変化にあわせて、サイトの構成やデザイン等も見直し、様々なインターネット環境の変化の中でも子どもたちが引き続きサイトにたどり着きやすくするための対策を練りました。

相談先としては、新しく34の支援サービスをリサーチし、掲載しました。2022年度掲載サービスは延べ657サービスとなり、うち認定サービスとして認定されたのは延べ19サービスとなりました。

子どもたちから Mex に匿名で寄せられた声の一部を紹介いたします。

「いつも、わたしの悪口ばっか言います。消えたいと思った時もありました。でもこのサイトを開いて少し、気が楽になりました。ものを壊されたり、差別したりするけど...誰かに相談してみようかなって思いました。ありがとう！」

「自分は不登校です最近過剰なストレスに追われています。将来の不安や自分は学校にいてなくていいんだろうかと思って最近では胸が痛く病院にいったけどなんにもなく息も苦しくて死にたいです。自分はよく遠慮がちでそれもストレスになったんだと思います。誰も相談する人がいなくてここに相談しました」

「戸籍性は女のはずなのに、自認性は男です。恋愛対象も女性で、保育園の年長頃から同級生の女の子に恋愛感情を抱いていました。自認性が男だと気づいたのもその頃です。（本気で自分は男だと思っていました。）-中略-こちらで吐き出させていただき、ありがとうございました。お陰様で少しばかり気が楽になった感じがします。本当にありがとうございました。また機会があれば利用させていただきたく思います。」

2. ユースセンター「3（さん）」：2021年に立ち上げたユースセンター「3」は2022年度で2年目となりました。引き続き新型コロナウイルスの影響も受け、スタッフ数が不足した数日は時間短縮することもありましたが、休館になった日はなく、定休日の水曜日と12月31日、1月1日を除いた、年311日オープンすることができました。

1年間で延べ2561回利用があり、そのうち食事提供数は2296回でした。利用者のうち約9割が食事をとっており、子ども食堂等では中高生世代の利用が少ないと言われていたのですが、中高生世代が利用しやすい環境が用意されれば、食事のニーズが高いことを痛感しました。また、昨年度に続き、洗濯やシャワー等の利用も少なくありませんでした。子ども同士の紹介や小学生の利用も見られ、年齢制限以外に条件がないことが子ども同士の紹介を促しやすく、行政等の支援では漏れやすい子どもたちの支援につながりやすい要因であるとも感じています。

共働き世帯や一人親家庭の増加、貧困問題や、高い養育や教育費等の中で、子どもたちにとって十分な家庭環境が用意できる家庭ばかりではありません。また自分自身が虐待や貧困下にいることすら分からない子どもたちも少なくなく、利用条件に虐待や貧困下にいることを求めたり、それを証明させたりすることは、子どもたちが支援にたどり着けない大きな要因になると感じています。安心してゆつくりと過ごせる場所が家庭で保障されている子どもたちは、わざわざこういった場所には足を運びません。利用にいたるのは、こういった場所に何かしら意味を見出している子どもたちです。私たちはユースセンターを運営することで、本来こうした支援や場を利用する権利があるにも関わらず、支援等にたどり着いていない子どもたちが利用できることを目指しています。どんな環境で生まれ育っても、ゆつくり休める場所、食事やシャワー、洗濯といった生活環境、暴力や暴言等がない環境が当たり前前に保障される社会を目指して、2023年度以降も子どもたちが来たい時にいつでも来られるような安定した場の運営を目指していきます。

ユースセンターを利用した子どもたちから匿名で寄せられた声を一部紹介いたします。

「とても居心地が良いです。使える時間が増えると嬉しいです。」

「お世話になりました。これからも様々な人の居場所であり続けてください。」

「なんとなく家には帰りたくないな…という時に利用しています。とても居心地がよくて助かります。」

子どもたちに必要な情報などを伝えるコンテンツ等を作成する事業（通称：子ども事業② コンテンツ作り）

1. 子ども向け啓発動画 「ミーのなやみ」

12 月に新シリーズである「先生編」を 4 本新規公開しました。先生による体罰や性被害を知ってもらうためのコンテンツになっています。子どもたちにとって、生活や人間関係の大部分である学校、そしてそこで指導を行う教職員はとて大きな存在です。そうした人たちによる虐待的行為は子どもたちに大きな影響を与えますが、学校という閉鎖的な空間での加害行為はなかなか可視化されにくく、また、発達段階にある子どもたちが、正しい知識を教えてくれるはずの立場にある教職員に対して、その行為の正当性を判断するのは非常に難しいものです。

シリーズの前半では、体罰について紹介します。なぐる・蹴るといった直接的な暴力だけでなく、特定の姿勢で居続けることを強要する、トイレに行かせないといった間接的に肉体的苦痛を与えるもの、また、体罰として定められてはいないけれど、体罰と同様に子どもたちへ大きな影響を与え得る暴言や、教員によるいじめの助長等を紹介しています。遅刻をしたから、先生の言うことを聞かなかったから、必要な成果をあげられなかったからといった理由から不当な扱いをされたときに、子どもたちが自分の過失によるものだからと考え、我慢し続けてしまうことのないよう、想定し得る幅広い状況を扱っています。

シリーズの後半では、教職員等による性暴力について紹介します。子どもたちの教員に対する信頼の気持ちを利用した「グルーミング」を介して行われる性暴力の多さを踏まえ、マッサージや指導の一環と称して加害行為に及ぶものや、悩み相談の中で加害行為に及ぶケース等、子どもたちが性被害を認識しづらく「気のせいかも」と感じてしまいがちなシーンを中心に紹介しています。さらに、2022 年 4 月に新たに施行された「教員による児童生徒性暴力防止法」によって新たに性暴力として裏付けされた、児童の裸や下着姿を撮影したり、性的な発言で羞恥心を与えたりといった内容も扱っています。

本シリーズによって、虐待・マルトリートメントを知る「家族・親戚編」、デート DV を知る「恋人・パートナー編」、学校等でのいじめを知る「いじめ編」、様々な人からの性犯罪・性被害を知る「性被害編」、バイトでの被害を知る「バイト編」、学校の先生からの体罰や性被害を知る「先生編」の全 6 シリーズの公開が完了しました。

「ミーのなやみ」には以下のようなコメントも届いています。

「自分は今中 2 で兄は 20 歳すぎて間違えたことしたら言い返したら言い訳とかどなり散らかし今日叩かれましたし脅されました。それを家族に言うとなんたのためとされます」

「生理痛重くて休みたい旨を伝えたら生理で休むなら女はみんな働けないって言われたことあるな…」

「十年前くらいにこういう活動があったら良かったな…」

2023 年度以降は、法律や制度の変更による更新や、より多くの子どもたちやその周りにいる大人たちに知ってもらうための広報活動に力を入れていきます。

2. YouTube オンライン相談会

2020 年に公開したオンライン相談会の動画ですが、引き続き閲覧が継続しており、2022 年度は約 24 万回再生され、累計 80 万回以上の再生回数となりました。子どもたちだけでなく、大人の視聴も多く、ご自身が過去に受けていたものが虐待や性被害であったことをはじめて知ったり、自分自身の子育ての在り方を振り返ったりする等、子どもたちの悲痛な声、相談を通じて、大人が学び、振り返るコンテンツにもなっていると感じています。

3. 10 代向けコラム

2022 年度は約 180 万人が、Mex を通して 10 代向けのコラムを読みました。

子どもたちに常に正しい情報を届けるために、法律や制度の変更にあわせて、全 202 のコラムの情報確認、更新を行いました。例えば奨学金や高卒認定試験、入試情報の変更や、不登校数や性被害数等のデータの更新、最低時給や社会保険情報のアップデートにあわせた記事の更新等を行っています。また、マイクロアグレッションやアンコンシャスバイアス等が起きないように写真・素材を使用しているかのチェックも行い、より多くの子どもたちの権利が保障されるサイト作りを目指しました。

さらに 2022 年度末に実施した Mex の全面リニューアルにあわせて全画像や素材のデザイン修正も行い、子どもたちの年

年齢やリテラシーによらず、直感的に情報を得やすいコラム作りを目指しました。

4. 児童福祉施設向け「教室型プログラム」

2022 年度は 3 施設にいる子どもたち 59 名に対して継続的な学習支援を行いました。多くの子どもたちは週に 3 日以上、平均 2 つの教科（多くは国語、算数。一部英語も実施）の学習を行っています。特に学習成果が出ている施設では、土日も含めて週 7 日近く学習習慣ができており、先取り学習にまで到達している子どもたちも見受けられました。

また、2022 年度は以下の教材の新規作成を行いました。外国ルーツの子どもたちの場合、国語を外国語のように覚えなくてはいけないケースも多く、クラウドファンディングを実施し、159 名の方からご寄付をいただき、これまでハードルが高かった音声付の教材をはじめて作成することができました。

＜新規作成＞

- ・英語：小 5 レベルの文法教材
- ・英語：小 5 レベルの英単語（音声付）
- ・国語：語彙教材（音声付）

その他、算数、国語教材を学習障害の子どもたちでも読みやすいユニバーサルデザインフォントへ改定する等、現場からの声を元に教材のアップデート作業を行うことで、忙しい児童福祉施設現場でもつまずきなく、学習支援を継続できるよう工夫を続けています。

子どもたちの現状を社会に伝え、子どもたちの環境を変える事業（通称：「伝える・変える」事業）

1. 白書－日本の子どもたちの今

2022 年度は以下の記事を新たに公開しました。

「日本は性犯罪に寛容？～性交同意年齢は 13 歳、主要国で最低」

「SNS がきっかけの子どもの性被害が増加？～身近なサービスから忍び寄る危険」

新規の 2 記事を含め全 14 記事を、1 年間で約 24 万人が閲覧し、前年度 5 万人の約 5 倍もの方に届けることができました。Google 等の検索で「虐待 定義」「子どもの貧困」「性同意 年齢」といったキーワードで上位に表示されており、より多くの大人が子どもたちを取り巻く複雑な現状を正しく理解し、子どもたちにとってより良い社会を作っていく構成員になっていただくためにも、今後も継続した発信を行っていきます。

2. Child Issue Seminar

新型コロナウイルスの感染が拡大する前の 2019 年 8 月に第 22 回目の Child Issue Seminar を実施して以降、約 3 年半ぶりに開催することができました。「今どきのこどもたちの実態と、親や周りの大人たちの関わり方」というタイトルで、「自立前の不安定な時期＝思春期」にスポットをあて、長年にわたり「思春期」と向き合ってきた子どもの心の専門医・小野善郎さんよりご講演をいただき、3keys 代表・森山から活動を通して見てきた日本の子どもたちの現状等についてもお話しさせていただきました。

今回はじめて、会場とオンラインのハイブリットでの開催となりましたが、80 名の方にご参加いただき、多くの方に満足していただけた回になりました。2023 年度以降もアーカイブ視聴という形でより多くの方に見えていただけるよう発信していきます。

「講師の先生のお話がとても穏やかでわかりやすく、理解不能な Z 世代を少し紐解くことができました。ぜひまた小野先生のお話をお聴きしたいです。（3keys の活動については）doing ではなく being という、子どもへの押し付けでない支援の在り方が、目から鱗でした。素敵だなと思いました。」-50 代 公務員

「思春期のことをとてもよく理解出来ました。また、3keys のような素晴らしい NPO があること、これからの社会に希望があると、前向きに思えるようになりました。」-50 代 専業主婦・主夫

「思春期での親の関わり的重要性を感じました。これまで思春期には、親との関わりから友人や他の大人の関係に移行していくのが良いと勝手に思い込んでいたので、とても良い機会になりました。（3keys の）居場所づくりの事業については、あえて介入をし過ぎないことも大事なのだと改めて考えさせられました。」-20 代 会社員

3. その他、メディア掲載・講演・執筆

2022 年度は以下のような発信を行いました。前年度より引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、講演は

オンラインでの開催がメインとなりました。

メディア掲載回数：10 回

- ・テレビ：1 回（日本テレビ）
- ・ラジオ：2 回（TBS ラジオ、J-WAVE）
- ・Web 記事：1 回（日本テレビオンライン）
- ・雑誌・書籍：2 回（鈴木出版、ダイヤモンド社）
- ・その他：YouTube、フリーペーパー等計 4 回

講演回数：7 回

講演先一覧：ILBS 国際福祉協会、積水ハウス株式会社、NPO サポートセンター公開講座、ボランティア推進団体会議、MBS ネットワーク同窓会、日本子ども虐待防止学会、woman プロティアン

2 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【131,695】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
子どもたちへセーフティネット等を提供事業（通称：子ども事業①セーフティネット作り）	1. 10 代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミクス）」 頼れる大人が周りにいない子どもたちは、トラブルに巻き込まれたり、深刻な状態で発見されたりすることも少なくありません。3keys では、虐待・いじめ・自殺・こころの問題等、深刻な悩みを抱えながらも誰にも相談できずにインターネットに駆け込んだ子どもたちが、安心して頼れる大人や支援団体とつながることができるよう、大人でも分かりづらい、行政や NPO 等の支援機関の情報を子どもひとりでも違いを比較し、相談できるようなサイト作りを目指しています。 また、様々な専門家の方の監修を経ながら、子どもたちがよくひとりで悩む内容の解決やヒントになるようなよみものや動画もサイト内で配信しています。	通年（24 時間）	全国・原則国内	11 名	主に 10 代以下	年に 1 回以上利用した人数 1,856,136 名	99,844
	2. ユースセンター「3（さん）」 子どもたちにとって、生活の中で一つは必ず「安らぐ場所」が必要です。多くの場合は、それぞれの家がその役割を果たすとされているでしょう。しかし、日本の住宅事情の元で、子ども一人ひとりのパーソナルスペースを用意できているのは、ゆとりのある一部の家庭のみ。家族といえども近すぎる距離で思春期を過ごす中で、家族と距離を取ることができるのは、目の前にあるスマホの中の SNS やネット、商業的な場しかないのが現状です。 さらに深刻な場合は、家庭内で暴力を受けていたり、罵声や面前 DV の被害が日常的にあったり、兄弟姉妹と明らかな差別を受けていたりといった、虐待やマルトリートメント（不適切養育）の環境にさらされている子どもたちは、日常的に安らぐ場所が奪われてしまっています。 「施設のような場ではなく、どちらかというと家にいるような感覚で過ごせる場所」「くつろいだり、目的を持たなくても、居心地が悪くない場所」「評価されたり、何かを強要されたりせず、自分が好きなことをして過ごせる場所」「子どもたちにとって安全で、静かな（非交流型）サードプレイスとなること」それがユースセンター「3（さん）」が目指す場所です。	通年 運 営 日 時： 月・火・木・金 9:30～21:30 土・日 8:30～21:30 ※2022年1月より、土・日は13:00～21:30に変更 ※上記曜日は祝日も運営 ※定休日：水曜日、12/31、1/1	東京都新宿区（利用者の対象エリア制限なし）	26 名	18歳になる年度末まで（高校在学中の方は20歳になる年度末まで）・対象のエリア制限なし	登 録 者 252 名 （内、新規 119 名） 延べ利用回数 2,561 回 食事提供数 2,296 回	

子どもたちに必要な情報などを伝えるコンテンツ等を作成する事業（通称：子ども事業②コンテンツ作り）	1. 子ども向け啓発動画「ミーのなやみ」 私たちは、誰かに相談する気力すら失った子どもたちに、虐待やいじめ、DV 等の正しい知識をつけてもらい、自らを必要以上に責めないこと、自分は悪くないこと、誰かに助けを求めてよいことを伝えています。子ども向け啓発動画「ミーのなやみ」では、子どもたち自身が動画のキャラクターであるミーが抱える悩みを客観的な立場から見ることで、自分が置かれている環境についても改めて考えることができるように構成しました。また、悩みに合わせて相談先等も紹介しています。 YouTube は 10 代が最も利用している Web ツールでもあります。正しい知識を身につけることで、助けを求めることすら恐れている子どもたちに、必要な一歩を踏み出してほしいという思いで作っています。	通年	全国・原則国内	5 名	主に 10 代の子どもたち	66,633 回再生	13,172
	2. YouTube オンライン相談会 コロナ禍で、虐待や自殺等につながる子どもからの SOS が増えたことと、平時以上に支援機関や大人の余裕がない状況を踏まえ、緊急企画として YouTube オンライン相談会を実施しました。臨床心理士の信田さよ子氏と、児童精神科医の井上祐紀先生に子どもたちから寄せられた相談に答えていただきました。 当日のライブでの相談だけでなく、その後に見逃し動画の配信も行っております。子ども向けではありますが、子どもたちとの関わり方のヒントもたくさんありますので、ぜひ大人の方もご覧ください。					240,451 回再生	
	3. 10 代向けコラム 10 代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex(ミークス)」には、相談先だけでなく、子どもたちからよく寄せられる様々な悩みの解決のヒントになるようなコラムを掲載しています。各分野の専門家の監修を経て、正しい情報を心がけているだけでなく、これまで長年子どもたちを支援してきた立場から、子ども一人で読んでも分かりやすい内容になるよう工夫しています。					202 記事／年に 1 回以上閲覧した人 1,804,609 名	
	4. 児童福祉施設向け「教室型プログラム」 虐待等の家庭環境で育った子どもたちの多くは、読み書き計算等の基本的な学習基盤が整っていないことが多く、小学校低学年から学習遅れが顕著になるケースが見受けられます。3keys では、主に児童養護施設と連携し、小学生の補習教室の運営や運営支援・教材支援等を行い、早期から子どもたちの学習をサポートできる環境作りをしています。	通年	東京都、神奈川県	4 名	児童養護施設および母子生活支援施設に入所中の主に小学生（一部中高生）	59 名／120 教科（3 施設）	
子どもたちの現状を社会に伝え、子どもたちの環境を変える事業（通称：「伝える・変える」事業）	1. 「白書-日本の子どもたちの今」 耳を疑うような内容の児童虐待、いじめによる自殺、教師や保育士による体罰や性暴力、子どもの貧困や格差等、いつから日本が子どもたちにとって不幸せな国になったのか、信じられないようなニュースを目にする機会が増えました。しかし、それらはどれも誇張ではなく、本当に日本で起きている事柄です。社会が複雑化している一方で、子どもを見守り育てる大人は親・先生に限定され、子どもたちが必要とする様々な形の愛情を受けづらい時代になりました。 事件がある度に、私たちの元にはたくさんのメディアや、個人の方から問い合わせが寄せられます。しかし、事件が去るとまた日常が戻り、子どもたちに関心を寄せる存在が減っていきます。 私たちは、何らかの形で子どもたちに関心を持ち続けてほしいと願っています。そのために、私たちのホームページに訪れた時に、正しく子どもたちの現状を知ってもらい、大人たちが日々できることを少しでもたくさん実践してほしいと思い、複雑化している子どもたちの現状を正しく伝えるための「子ども白書」をサイト内に作りました。子どもたちを見守る大人の一人として、ぜひ子どもたちの今を正しく知っていただけたら嬉しいです。	通年	全国・国内外制限なし	9 名	制限なし（主に大人）	閲覧者数 245,912 名（年に 1 回以上訪れた人のユニーク数）	18,677

	2. 研修・「Child Issue Seminar」の開催 3keys では、子どもたちの支援だけでなく、日本の子どもたちを取り巻く環境の周知・改善を目的としたセミナーを大人向けに主催し、理解者や支援者を増やすための啓発活動を行っています。2013 年度から開始した連続セミナー「Child Issue Seminar」では、社会的に話題になっていることや、ぜひ知ってほしいテーマを取り上げています。 子どもの支援に普段関わっていない主に一般の方向けの会と、子どもに既に関わっている支援機関・行政関係者を主たる参加者とした会があります。	2023 年 3 月 4 日	新宿エリア (動画配信は全国・国内外制限なし)			80 名(会場参加・動画視聴を合わせて)	
	3. 執筆・講演・メディアでの啓発 3keys では、子どもたちの現状をより多くの方々に伝え、一人ひとりができることを実践するために、講演や執筆等を積極的に行っております。イベントや勉強会等の講師としてお呼びいただくことで、3keys だけではアプローチできない方々に子どもたちの現状を伝えることができます。	通年	全国・国内外制限なし			220 名 (講演参加者数のみ)	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)

2022(令和4)年度 貸借対照表

2023（令和5）年3月31日現在

特定非営利活動法人3keys

（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	95,366,219		
商品	97,982		
未収金	7,858,631		
貯蔵品	236,424		
前払費用	5,258,123		
流動資産合計		108,817,379	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器・備品	176,723		
		176,723	
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	10,168,897		
ソフトウェア仮勘定	200,000		
		10,368,897	
(3)投資その他の資産			
出資金	1,000		
保証金	26,265,600		
		26,266,600	
固定資産合計		36,812,220	
資産合計			145,629,599
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	8,349,055		
前受収益	594,000		
預り金	409,279		
前受助成金	39,613,196		
未払法人税等	70,000		
流動負債合計		49,035,530	
負債合計			49,035,530
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
前期繰越指定正味財産	0		
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産合計		0	
2 一般正味財産			
前期繰越一般正味財産	102,297,933		
当期一般正味財産増減額	△ 5,703,864		
一般正味財産合計		96,594,069	
正味財産合計			96,594,069
負債及び正味財産合計			145,629,599

2022(令和4)年度 財産目録

2023（令和5）年3月31日現在

特定非営利活動法人 3keys

（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	102,800		
三菱UFJ銀行普通預金①	2,484,083		
三菱UFJ銀行普通預金②	84,044,214		
三菱UFJ銀行普通預金③	3,204,490		
三菱UFJ銀行普通預金④	0		
郵便振替 当座預金	5,530,580		
郵便貯金 普通預金	52		
		95,366,219	
商品			
ピアス・イヤリング 他	97,982		
		97,982	
未収金			
子どもの権利保障推進事業収入 他	7,858,631		
		7,858,631	
貯蔵品			
切手・図書カード 他	236,424		
		236,424	
前払費用			
賃貸物件保証委託料・賃貸料 他	5,258,123		
		5,258,123	
流 動 資 産 合 計			108,817,379
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器・備品	176,723		
		176,723	
(2)無形固定資産			
HPリニューアル、動画「ミのなやみ」他	10,168,897		
ソフトウェア仮勘定	200,000		
		10,368,897	
(3)投資その他の資産			
出資金 生活クラブ連合会	1,000		
保証金 新宿事務所賃貸	26,265,600		
		26,266,600	
固 定 資 産 合 計			36,812,220
資 産 合 計			145,629,599

科 目		金 額		
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金				
スタッフ給与・経費 他	8,349,055			
		8,349,055		
前受収益				
学習支援事業 年会費	594,000			
		594,000		
預り金				
源泉所得税 他	409,279			
		409,279		
前受助成金				
翌期以降使用助成金	39,613,196			
		39,613,196		
未払法人税等				
未払法人税等	70,000			
		70,000		
流 動 負 債 合 計				49,035,530
負 債 合 計				49,035,530
正 味 財 産				96,594,069

2022(令和4)年度 活動計算書

2022(令和4)年4月1日から2023(令和5)年3月31日まで

特定非営利活動法人 3keys

(単位:円)

科 目	金 額		
(一般正味財産増減の部)			
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	130,000	130,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	48,697,364	48,697,364	
3 受取助成金等			
受取助成金	2,378,000		
受取助成金振替額	71,540,117	73,918,117	
4 事業収益			
子どもたちへセーフティネット等 を提供する事業	20,120,280		
子どもたちに必要な情報などを伝 えるコンテンツ等を作成する事業	594,000		
子どもたちの現状を社会に伝え、 子どもたちの環境を変える事業	358,049	21,072,329	
5 その他収益			
受取利息	125		
雑収益	2,990	3,115	
経常収益計			143,820,925
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
役員報酬	2,953,440		
給料手当	48,692,106		
法定福利費	5,053,601		
福利厚生費	395,452		
人件費計	57,094,599		
(2)その他経費			
仕入高	29,908		
広告費	1,270,755		
郵送費	282,646		
印刷製本費	278,301		
調査研究費	341,211		
水道光熱費	3,279,258		
消耗品費	5,920,919		
支払保険料	199,385		
租税公課	7,185		
渉外費	23,359		
旅費交通費	3,064,024		
通信費	643,498		
支払手数料	2,046,106		
会議費	7,634		
謝金	2,240,712		
システム維持費	3,169,881		
委託費	7,324,268		
家賃	40,860,611		
賃借料	50,160		
雑費	65,502		
減価償却費	3,495,135		
その他経費計	74,600,458		
事業費計		131,695,057	
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	562,560		
給料手当	9,274,688		
法定福利費	962,590		
福利厚生費	71,344		
人件費計	10,871,182		

科 目	金 額		
(2) その他経費			
広告費	163,402		
郵送費	6,979		
印刷製本費	1,134		
調査研究費	26,158		
水道光熱費	102,203		
消耗品費	210,433		
支払保険料	29,909		
租税公課	1,283		
渉外費	173		
旅費交通費	655,281		
通信費	119,510		
支払手数料	149,703		
会議費	404		
謝金	234,311		
システム維持費	334,537		
委託費	3,547,959		
家賃	2,477,629		
減価償却費	209,648		
その他経費計	8,270,656		
管理費計		19,141,838	
経常費用計			150,836,895
当期経常増減額			△ 7,015,970
Ⅲ 経常外収益			
1 為替差益		1,382,106	
経常外収益計			1,382,106
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期一般正味財産増減額			△ 5,633,864
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期一般正味財産増減額			△ 5,703,864
前期繰越一般正味財産額			102,297,933
次期繰越一般正味財産額			96,594,069
(指定正味財産増減の部)			
Ⅰ 受取寄附金	0	0	
Ⅱ 受取助成金	71,540,117	71,540,117	
Ⅲ 一般正味財産への振替額	△ 71,540,117	△ 71,540,117	
当期指定正味財産増減額			0
前期繰越指定正味財産額			0
次期繰越指定正味財産額			0
次期繰越正味財産額			96,594,069